

藤棚新聞



第71号
2020年(令和2年)
8月1日
偶数月発行
フリーペーパー

横浜市電と歩んだ藤棚商店街

横浜市電は、明治37(1904)年から昭和47(1972)年まで約70年間にわたって“ちんちん電車”の愛称で親しまれ、横浜市内を縦横に走って市民の足となりました。

昭和20(1945)年から30(1955)年代、戦災で焼け野原になった藤棚も見事に復興しました。この頃西区で一番賑わった藤棚商店街には全市から買い物客が市電を利用して集まったと言います。けれども横浜駅西口が開発されて、相鉄線各駅に商店街ができ始めると藤棚まで足を運ぶ必要がなくなりました。そして昭和41(1966)年になると、生麦線、中央市場線が廃止されて、市電の撤去が始まりました。この頃、街には「ブルーライト・ヨコハマ」の曲が流れ、「よこはま・たそがれ」が流行り出したのです。

やがて昭和47(1972)年3月31日に、市電とトロリーバスが全廃されました。桜木町、横浜間を市電に平行して走っていた東急東横線の桜木町駅も平成16(2004)年、みなとみらい線の開通に伴い廃止されました。今は跡地を利用して遊歩道が整備されています。

しかし、横浜の町を作って横浜とともに生きてきた市電は、今ではその懐かしい姿を横浜市電保



存館で見せてくれています。

←写真左

桜木町を通過する市電

写真右→

現在の桜木町駅前

4面に電車運転系統図



横浜市電保存館 TEL: 045-754-8505 〒235-0012 横浜市磯子区滝頭 3-1-53

www.shiden.yokohama

横浜市電保存館

検索

横浜を語り繋げる「郷土横浜を拓く」発刊

去年、発足四十周年を迎えた横浜西区郷土史研究会(藤棚新聞第68号{2019年10月}既報)の田村泰治会長は、自身でも『史論集 III 郷土横浜を拓く』を発刊しました。

平成9(1997)年に第一巻を発刊してより、今回の第三巻になりました。今回は横浜西区郷土史研究会の共同研究も別冊として『横浜久保山の寺町通りの研究 ー横浜久保

山共葬墓地と関わってー』を刊行しました。

田村さんは、「横浜生まれの横浜育ちなので、愛する横浜を語り繋げていきたい思いに駆り立てられている」と言います。

写真は田村泰治自身の著作(左)と別冊の共同研究(右)

新型コロナウイルスの影響はスポーツにも

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、日本高校野球連盟は春のセンバツ（第92回選抜高校野球大会）を中止しました。その後代替措置として、「2020年甲子園高校野球交流試合」を開催し、センバツに出場予定だった32校を甲子園球場に招待することが決定されています。日程は8月10日～12日、15日～17日の6日間の予定です。神奈川県からは東海大相模高校が8月17日第一試合に出場します。

夏の甲子園（第102回全国高校野球選手権大会）の中止も決定されており、全国の都道府県高校野球連盟は独自大会の開催を計画しています。神奈川県は8月1日～23日に「令和二年度神奈川県高校野球大会」として無観客（控え部員、保護者も観戦不可）での試合開催を模索しています。神奈川県高等学校野球連盟ではテレビ放送ができないか等、最終調整を行っているようです（詳細は未定）。

開幕が遅れていたプロ野球は6月19日から無観客での試合が行われ、横浜スタジアムでは7月17日から入場制限を実施しての試合観戦が始まりました（今後、変更となる可能性がありますので、最新情報は横浜スタジアムHPをご確認ください）。



横浜スタジアムは2020年2月に6千席増の改修工事を終わっていますが、球場が満員になる日はまだ少し遠そうです。横浜スタジアムの近くにあるベイスターズショップではテイクアウト可能なメニューを用意している他、デリバリーも行います（前日までの予約要）。ベイフードを片手に、自宅でテレビ観戦。これもまた、新しい生活様式かもしれません。

←横浜スタジアム



横浜市市民協働推進センター・オープン6月29日

———横浜市をよくするテーマに市民と行政が協働で取り組む———

市民の地域活動を心強く支援してくれてきた横浜市市民活動支援センターが3月で事業を終了しました。そしてここの機能を整理して、桜木町駅前に新築された横浜市市庁舎の1階に開設された横浜市市民協働推進センターに引き継ぎました。



横浜市市民協働推進センターを訪問して、チーフ協働コーディネーター吉原明香さんに特徴や機能などについて伺いました。ここは横浜市をより良くしたい市民と行政が重なり合う空間として6月29日にオープンしました。地域団体・NPO・企業・大学・行政など、組織の垣根を越えて、取り組みたい課題や、気になるテーマで繋がりを、協働の未来を作ろうと呼びかけています。

また、同センターでは市内の公益活動を応援するために、令和2年度新型コロナウイルス感染症の影響に伴う市民公益活動緊急支援助成金の申請を募集しています。



こんにちは、グループ! 「Yocco18」

横浜18区のキャラクターが魅力を発信

横浜18区を盛り上げる、市民発のプロジェクト「Yocco18」がTwitterで発信されています。「Yocco18」は、横浜の18各区をモチーフにしたキャラクターを活用した、地域の魅力発見プロジェクトです。キャラクターはそれぞれ、地域の特徴(名産品、シンボルなど)がデザインに反映されており、横浜18区の特徴が分かりやすく表現されています。例えば西区のキャラクター(画像左)は、崎陽軒のシウマイや平沼のガスタンクをモチーフにした帽子、藤棚がモチーフのブーツを履いています。港だけでなく地域の魅力をキャラクターが紹介し、ホームページではイラストも公開されています。



キャラクターをデザインしているのは、戸部在住の遠藤望さん(横浜18区ブランディングプロジェクト代表)。遠藤さんは、生まれ育った西区・藤棚から、市内他区へ引越したことをきっかけに、横浜市内の地域性に興味を持ち、プロジェクトの発案に至ったそうです。

大学では地理学を専攻し、横浜でのまち歩きや地域活動を通して、18区のキャラクターを膨らましていきました。

そんなYocco18の目標は、「身近な地域の多彩な魅力を知り、楽しむ人を増やす」こと。キャラクターが身近な地域に親しむきっかけとなれば、と遠藤さんは話します。

「Yocco18」ホームページ

<https://www.yocco18.com/>

Yocco18



不思議な 電柱広告



西区役所のほど近くに、レトロな看板(写真左)を見つけました。「手作りのパンとケーキ ムカキベーカリー 清水銀行前」とあります。昔の電柱広告のようにも見えますが、浜松町のムカキベーカリー(パン屋さん)も御存知ないそうです。不思議ですね。

清水銀行横浜支店がムカキベーカリーの前にあったのは、昭和50年9月～平成16年6月。昭和50年といえば、市電が廃止されて地下鉄が開業したタイミングでもあり、横浜の町が大きく変わった潮目の時期でもあります。

西区の街の変遷を見守ってきたロマン溢れるもの、あなたの近くにもありませんか。



浜松町のムカキベーカリー

藤棚新聞への投稿お待ちしております。

fujidananp@jcom.zaq.ne.jp

TEL 090-9683-6099 FAX 045-891-0081

ふじなちゃんの散歩道

大岡川沿いの日の出湧水を発見



少し足を伸ばして、大岡川を渡る黄金橋付近を歩いていたら湧水を発見しました。側の案内板「日ノ出町湧水について」(写真右)には、

「この湧水も野毛山が水源と考えられ、・・東小学校の脇から現在地まで、地中に埋設された鉄製管を通じて導かれています。

・・平成21年3月」と地元の町内会などにより書かれています。

興味を惹かれて東小学校の脇にいくと「校庭地下の構造物」の掲示版があって、「平成27年8月・・トイレの工事を行うため・・校庭に穴を掘り進めたところ、地下からレンガ造りの立派な構造物が現れ、・・バルブのついた鉄製の管があり、壁から染み出て床にたまった地下水が流れ込んでいました。試しに鉄製管の流れを塞いだところ、なんと大岡川沿いにある、日の出湧水の水が止まり、元に戻したらまた湧き出したということです。」さらに、「重田校長先生は、『校庭の地下とまちがつながっていたのは、



地域の方に支えられて学校教育をしてきた東小らしいことだと思います。』と話しています。その後、この構造物は元通りに塞がれて埋蔵保存されましたが、文化財課では引き続き調査を行っているそうです。

「校庭地下の構造物」の記述は、『横浜市立東小学校創立110周年記念誌(平成27年発行)』より

藤棚新聞の活動はお休みしていましたが再開します。



最盛期の電車運転系統図 市電保存館提供



藤原司法書士事務所

藤原司法書士事務所



相続・遺言その他の法律問題
お気軽にご相談ください。
初回相談無料です(30分程)
☎ 045-620-9477
<http://fujiwara-shiho.com>

小学1年生～高校3年生対象 入室テストはありません

80分無料体験授業 実施中!

まずは京進スクールワンのよさを体験してください。※小学1～3年生は40分授業です。

さあ! 君もこの藤棚新聞を持って
藤棚郵便局斜め前の教室へGO!

特別招待状

個別指導京進スクールワン

小学1年生から高校3年生 全科目対応

戸部藤棚教室 TEL 045-594-7326

藤棚新聞では、ただいま広告を募集中です。いっしょに活動してくれるボランティアも募集しています。

【発行】藤棚新聞 〒247-0009 横浜市栄区鍛冶ヶ谷 2-54-C 801

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@jcom.zaq.ne.jp

【ホームページ】<https://fujidananews.jimdofree.com/>